

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、社会形成能力（協力・協働）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。小学部入学から高等部卒業まで一貫した意識（積み重ね）で支援を継続しています。

今回は社会形成能力の一部の「協力・協働の理解」を取り上げます。

【高等部】 協力・協働して、集団の一員として役割を遂行する。

【中学部】 自分の役割を果たしながら、友達と協力して集団で活動する。

【小学部】 友達と協力しながら、落ち着いて集団活動に参加する。

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねています。

みんなで協力して作品や製品を仕上げる活動もキャリア教育です！

<小学部 運動会に向けての制作活動>

運動会に向けて種目の練習を行うとともに、その種目の中で使う道具の制作も行いました。2年生の種目では、果物（バナナ、りんご、もも）を1人1種類ずつ作り、3種類合わせてフルーツポンチの出来上がりです！自分の好きな果物を選び、分担して色を塗り、切ったものを箱に貼りました。自分たちで協力して完成させた道具を使用することで、運動会への意欲も一層高まりました。



<中学部 第I期校内実習>

6月12日（月）～16日（金）までの5日間、第I期校内実習が行われました。リサイクル班や組立分解班の他にも、松本家様、会津中央乳業様、鰻のえびや様の御協力をいただき、箱折り班、箸入れ班、アイスシール班として、普段経験できない緊張感のある作業にも取り組みました。「この仕事がやりたい。」という思いを表現しつつも、自分の好きな仕事を選べるわけではないことを学び、一人一人が作業を分担して真剣に取り組む姿が見られました。最終日には高等部の実習を見学に行き、先輩たちが黙々と働く姿を見た生徒たちから、「自分もまた仕事がしたくなった。」「高等部の皆さんのように働けるようになりたい。」といった感想が聞かれました。20日（火）に行われた報告会では、実習をする上で心掛けたことや今後の目標を発表し、お互いのがんばりをたたえ合いました。



<高等部 校内実習（類II B）>

高等部2・3学年は、6月12日（月）～6月23日（金）まで、各企業様の御協力をいただき、産業現場等における実習を行いました。また、その期間の中で、現場実習に参加しない日は、校内での実習を実施しました。校内実習では、リサイクル用紙を使用したメモ帳作りとキッチンモモ様の箸入れを行い、集団の中で協力・協働することができる態度を培うことができました。特にメモ帳作りでは、一人一人が自分の役割を理解し、紙を切ったり紙の枚数を数えたりするなど一連の流れで作業に取り組み、友達と協力しながら製品を作ることができました。この実習を通して、自分の課題を明らかにし、進路実現に活かしてほしいと思います。

